

(社)日本原子力学会
第35回倫理委員会議事要旨

日 時 H19.11.12(月)9:30~11:50
場 所 東京大学工学部8号館5階502室
出席者 北村、大場、班目、安濃田、小沢、作田、清水、谷、辻、鳥飼、中安、
萩原、三好、矢野(14名)

配布資料

- 資料 35 - 1 第34回倫理委員会議事要旨(案)
- 資料 35 - 2 不正・不適切行為の再発防止対策の検討(暫定)
- 資料 35 - 3 「関西電力(株)美浜発電所3号機二次系配管破損事故に関する提言」
フォローに関する見解
- 資料 35 - 4 2008年春の年会企画セッション提案書
- 資料 35 - 5 倫理委員会ホームページの充実について
- 資料 35 - 6 Code of Ethics of the Atomic Energy Society of Japan
- 資料 35 - 7 07年秋の大会倫理委員会セッション「原子力事業者の不正・不適切事例
について考える」
- 資料 35 - 8 第9回「原子力に関する倫理研究会」開催案内および配布資料

議事

1. 資料 35 - 1 の前回議事要旨を確認した。なお、倫理規程改訂案に対し理事会で出されたコメントに対しては回答済みであること、さらなるコメントはなかったことが報告された。
2. 原子力設備に係る不正・不適切な行為と再発防止の評価検討タスクの作業状況報告として、鳥飼委員より資料 35 - 2 を用いて不正・不適切行為の再発防止対策の検討状況の紹介があった。原因の徹底究明は古い事例が多いことから必ずしも容易でないことから、それについては一区切りをつけ、今後は再発防止対策の検討に重心をおく方向であるとの説明があり、了承した。そのほかいくつかの意見が出され、それらを参考に今後の作業を進めることとした。
3. 大場副委員長より資料 35 - 3 を用いて「「関西電力(株)美浜発電所3号機二次系配管破損事故に関する見解」のフォロー」の原案の紹介があった。意見交換によりいくつか修正を行った。今後、さらに意見を受け付けた後、投票に移ることを確認した。
4. 次期倫理委員会委員(理事以外)として、現委員で再任を希望している者全員と、旧委員の希望者、および新規の希望者、計13名を理事会に推薦することとした。なお、新規の希望者全員を推薦できないが、その旨を学会事務局から推薦できなかった応募者にも理事会での決定後に丁寧に説明してもらうこととした。次期委員長としては、北村現委員

長を理事会に推薦することとした。

- 5 . 班目幹事より資料 35 - 4 を用いて 2008 年春の年会企画セッションの提案があった。この機会に外部の方の辛口のコメントないしは他学会の積極的な活動報告を頂くこととし、その講師の人選は大場副委員長、鳥飼委員が担当することとなった。なお、原子力学会の論文投稿等に関する倫理ガイドラインは編集委員会でまとめており、近く理事会に掛けられること、引き続いて部会等運営委員会で年会や大会での発表に関するものが検討されることが事務局より説明された。企画セッションの座長は大場副委員長が務めることとなった。
- 6 . 鳥飼委員より資料 35 - 6 を用いて改訂倫理規程の英訳の紹介があった。コメントがあれば鳥飼委員に連絡することとした。また改訂点についてはできるだけネイティブの方のチェックを受けることとした。
- 7 . 大場副委員長より資料 35 - 5 を用いて倫理委員会ホームページの充実状況についての説明があった。ズーム機能についてはその方法をトップページに掲載する。可能ならカウンター設置やページ滞在時間等の調査も試みることとした。
- 8 . 作田委員より資料 35 - 7 を用いて 2007 年秋の大会倫理委員会セッション紹介の学会誌記事の説明があった。なお、できるだけ早い号に掲載してもらうべく、次回からは早めに編集委員会に申し込みすることとした。
- 9 . 資料 35 - 8 を用いて第 9 回「原子力に関する倫理研究会」の実施方針の確認を行った。
- 10 . 学会全体のホームページ改訂の検討が進んでいる旨の紹介が事務局よりあった。
- 11 . 次回は次期委員が理事会で決定した後に日時・場所を決めることとした。